

保育終了の三月は、幼児教育者にとつて淋しい月である。それは、今まで馴れ親しんだ子らが、今日から離れてゆくからであることは勿論であるが、或は又、餘りにも幼児保育者としての自分が、びつしやりと反省させられる月であるからかも知れない。

しかも、この淋しさは、ほんたうの自分への淋しさは、

お辨當の時の躑

幼稚園でお辨當の時の幼児たちの様子を見てゐるに、心持の上にも、形の上にもいろ／＼のあらはれがある様である。お腹がすいて早くたべたい様子はどの人々も共通の様であるが「いただきます」云つてお箸をさつていただく時にお母様がつくつて下さつたあたりがたい、うれしい氣持を充分にもつて、ほんたうに心の底から「いただきます」である人々、そんなことには全々無頓着な様子でただ口だけで「いただきます」をするものもある。

又形の上でも手際よく食事をしてゐるものもあれば、無

一年々々、自分を幼児保育者として進め、深めてゆくきな力でもある。即ち三月は、幼児にとつての進展の月であるばかりでなく、先生にとつても、進展の月であるのである。たゞ、その進展式を誰れも他人がして呉れないだけである。自己の反省だけが自分を進展させて呉れるのである。

及川ふみ

器用な手つきでお箸をもち、食卓の上や下にあらこちらにこぼしてきたならしくしてゐるものもある。又姿勢なご悪くしておしやべりしながら長い時間食事をしてゐるものもある。この様なお辨當の時の様々の幼児の様子を頭に浮かべながら新入幼児のお辨當の時の躑について考へて見たいと思ふのである。

お辨當の時には幼児たちを躑ける上に、よい機会が度々あるのである。

先づ心持の上の躑について考へて見るに「感謝」の心持の

切實にもたせられるよい機會である。

時局下において充分に食事を與へられる皇國への大なる感謝、作つてくれる人たちへの感謝、手近かなごころのお母様への感謝等いろいろの感謝のこもつた「いただきます」であるやうにしないでならない。家庭でも躰の充分ゆきまゝいたごころでは食事に對して感謝の氣持がよく體得されてゐるものもあるが、幼稚園としては全幼児一人ももなくこの氣分を徹底させたいものである。

次に衛生的に食事の前の手洗ひ、合嗽なごの習慣は云ふまでもない事であるが、食事の際食物を充分に咀嚼する事にはごさら留意したい。したがつて食事中は言葉少く靜かによくかんで食べる事である。話しながら食べればお飯やお菜なごをおこしたり、こぼしたりする。

又食事の時間もながくかゝらない様にして席をたつたりおしやべりをしないごの點にも注意したい。

又食べ方についてもお辨當箱、お箸なごの持ち方、お湯の呑み方なごの細かい點にも幼児としての作法をよく指導して粗野にならないに躰るのは勿論であるが、姿勢についてもよく注意して、正しい姿勢で坐つたり椅子にかけたり出来る様にさせなければならぬのである。

食事のすんだ時の「ちそうさま」の挨拶も必ず云はせる事、食後の合嗽なごも忘れない様に習慣づけるご共に、

お辨當箱の後片づけ、こぼしたものは必ず幼児自身に拾はせるご。鳥や家畜なごの類を幼稚園で飼つてゐる時にはそれにやる様にすることなごは保姆が率先して、實行して見せて幼児たちにも無駄にしない事をよくわからせるなご細かい點にも躰のよい機會を見のがさない様にありたいものである。

以上かきつらねた事柄は事新しい事は、一つもない。日常幼児と一緒に生活する大人がいつも考へられてゐる事ばかりである。たゞ實際幼児の食事の時にこれ等の諸點が細大さなく注意されてよき習慣として幼児自身に體得されてゐるか否かといふ事である。簡單なごでも實行は容易なごでない。又習慣として心の底まで體得させるのには相當の時日もかゝる事である。學期の初めに新らしく發足する時に一つの方針をたてて幼児の躰を考へられる時に是非ごもこのお辨當の時の躰について考へておくご同時に持續的に幼児の様子について反省して不斷の注意をはらひたいものである。